



町田市立鶴川第二中学校

鶴二中だより

卒業特別号

令和8年3月19日

TEL042-734-4343

「卒業する皆さんへ贈る言葉」

校長 小島千恵

校門近くにある桜の木のつぼみも膨らみはじまりました。思い起こせば、皆さんの入学式の日も、桜の木は見事な花を咲かせ、皆さんの入学を祝福したのでしょうか。きっと、はにかみながら桜の木の前で写真撮影をした人もいたと思います。素敵な思い出が蘇ってきますね。

今日は卒業式となります。3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業式は、これまで3年間一所懸命に勉学に励み、友人たちと充実した生活を送ってきた3年生の集大成の行事です。皆さんは、本校の教育目標である、「自ら学び創造性のある生徒」「豊かな心を持ち、思いやりのある生徒」「心身ともに健康で、忍耐力のある生徒」のもと、日々の学習のみならず、運動会や合唱コンクールなどのどんな場面でも真剣に取り組み、本校の長き伝統を守り、最学年として、素晴らしい学校を築いてくれました。

ここで、皆さんへのはなむけとして、詩人である相田みつをさんの「人間だもの」のなかの言葉を贈ります。

「長い人生には、自分の思いが通らぬことがたくさんある。むしろ、自分の思うようにならない方がはるかに多いのが人生だ。それならば人生の目標を思うようにならない方に合わせるべきだ。思うようにならぬ、それは言葉を言い換えれば『負けること』。自分の思うとおりにカッコ良く勝てることなど人生ではごくまれだ。小さい時から負ける練習を積んでおけば成人してから負けに強い人間になれる。人生における波風、どんな屈辱にも耐えて、まっすぐに自分の道を歩いていけるような『いのちの根』を作っておこう」。

人にはそれぞれ個性があり、良さがあります。自分を信じて失敗や苦しさを恐れず、さまざまなものにチャレンジし、強い心と優しい心をもって大きく羽ばたいてください。

それぞれが自分に合った人生を歩み出していくことを願いながら、もうひとつ詩を紹介します。兵庫県出身の東井義雄さんの詩です。

「自分は
自分の主人公
世界でただひとりの自分を創っていく
責任者。」

卒業後は、本当に自分がやってみたいことに、挑戦してください。ときどきは失敗もするかもしれませんが。そのときに「自分のことなんだから、何をしたらいいじゃないか」などとやけになってしまうこともあるかもしれません。

でも、失敗できる人は幸せ者です。そうは思いませんか。

なぜなら、何かに挑戦した人でないと、失敗もできません。若いうちにたくさん失敗して、やがて、自分なりに、「生きてきてよかった」と思える日を迎えてください。

皆さんは、「自分の人生の主人公」なので、これからも応援します。

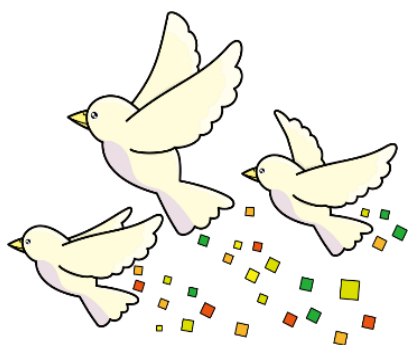


保護者の皆様へ

本日はお子様のご卒業おめでとうございます。お蔭様で本日卒業式を迎えることができました。この3年間の活動を通して、心身共にたくましさ溢れる姿が多く見られますことは、保護者・地域の皆様との共育の成果でもあります。心より感謝申し上げます。そして何より、この日を迎えられたことは、3年間の本校の教育活動に対してご理解・ご支援をいただけたからこそと感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございました。卒業生は今後一人一人違った道を歩んでまいります。これまでと同様に、温かいご支援をお願いいたします。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます

新しい世界へ大きく飛躍してください。



鶴二中生がんばっています！ 《敬称略》

◆令和7年度東京都人権作文コンテスト（追加再掲）

町田市選考会優秀賞 1名

◆第64回東京都中学校書き初め紙上展

準特選 1名

金賞 2名

◆第25回「人間性豊かな実話」作文コンクール

金賞 1名

銀賞 2名

銅賞 4名

入選 1名

◆第75回東京都公立学校美術展覧会 家庭科 出展

6名

※ 3学年表彰対象者



鶴川二中の思い出

